

視察・研修報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 穴 戸 稔

下記のとおり、視察・研修が終了したので報告します。

会派代表者氏名 穴戸 稔

経理責任者氏名 山田真一郎

期 間	令和4年12月19日
用 務 先	京都府木津川市 相楽中部消防組合本部
用 務	消防組合本部消防庁舎移転建替について
概要及び所見 (目的、参考にすべき事項、提言、活用策等)	<p>概要</p> <p>相楽中部消防組合 京都府木津川市、笠置町、和束町、南山城村で構成 京都府木津川市にある相楽中部消防組合 昭和49年建設 48年経過（三次 昭和57年40年経過） 平成26年4月 庁舎建設移転に関する検討委員会 平成28年度（29年3月） 「相楽中部消防組合常備消防力適正配置調査報告書」 消防防災科学センター（東京都三鷹市）に調査依頼 この報告書に基づき、地域の位置、地勢、人口等の状況、消防活動アクセス等を踏まえ、移転先を選定する。</p> <p>令和2年度 「相楽中部消防組合消防本部新庁舎建設基本構想」 新庁舎建設の必要性と建設の場所 令和4年度 造成工事 令和5年度建築工事 令和7年6完成予定</p> <p>消防力適正配置調査 消防広域化の検討 消防力の連携・協力事業の検討 署所や車両の適正配置の検討 署所や車両の新設、移転、統廃合などの検討</p>

<p>概要及び所見 （目的、参考に すべき事項、提 言、活用策等）</p>	<p>消防力に関連の深い消防需要指標の分布 人口 世帯 中高層建物（3階建以上） 道路状況と所署位置 火災の件数分布 救急出動の件数分布 救助出動の件数分布 現状の消防力の充足状況の把握 第2着ポンプ車の走行時間 救急車の走行時間 人口と消防需要の将来推計</p> <p>所見</p> <p>消防力が発揮できる適正な場所を科学的な根拠に基づいて選定されていることは、本市においても参考とすべきものとする。</p> <p>その科学的根拠を専門機関である消防防災センターに依頼されている。専門的、客観的な調査報告が得られていると考えることが出来る。</p> <p>まずはこのような調査を行うべきとする。</p>
---	--

視察・研修報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 穴戸 稔

下記のとおり、視察・研修が終了したので報告します。

会派代表者氏名 穴戸 稔

経理責任者氏名 山田真一郎

期 間	令和4年12月20日
用 務 先	石川県加賀市 加賀市役所
用 務	加賀市医療センター建設整備について
概要及び所見 （目的、参考に すべき事項、提 言、活用策等）	<p>概要</p> <p>救急医療の不足、市民病院産婦人科の時間外の受診制限、小児科休診、山中温泉医療センター産婦人科休診などの医療の衰退が進む。</p> <p>地域医療審議会において、二次救急医療を担い、医療設備の充実した新病院を建設ことが抜本的問題解決にならないとの答申が出される。</p> <p>救急医療を考えるシンポジウムや救急病院を考える公開討論会・医療提供体制調査検討委員会・市民意見交換会を実施。</p> <p>平成23年11月 医療提供体制基本構想策定</p> <p>平成24年 1月 基本構想市民説明会</p> <p>2月 医療提供体制推進委員会発足</p> <p>8月 総合新病院建設基本計画策定</p> <p>9月 総合新病院建設事業者選考委員会</p> <p>平成25年 3月 建設事業者決定・契約締結</p> <p>4月 病院統合協議会設置</p> <p>10月 統合新病院基本設計策定</p> <p>平成28年 4月 加賀市医療センター開院</p> <p>病床数300床内一般病床214床、地域包括ケア病床41床 回復期リハ45床</p>

<p>概要及び所見 （目的、参考にすべき事項、提言、活用策等）</p>	<p>所見</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 全室個室を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーが守られる。 ・空調調整が各部屋ごとにできることで快適に過ごせる。 ・看護師によるベットコントロールが容易になった。 ・感染症拡大を防ぐことができる。 ・差額ベッド料が発生しない。 ・入院中の生活環境が改善でき、病院、職員へのクレームが格段に少なくなり、働く環境も改善された。 ・看護師の評価がよく、「もう大部屋運用には戻れない」とのこと。 <p>本市においても、三次中央病院建て替えに伴い、全室個室化を行う方向性を出せればと考える</p> 2 出産時の妊婦の負担軽減のため、陣痛、分娩、回復を一つの部屋で行えるLDR室を設置。 3 災害に強い病院整備 <ul style="list-style-type: none"> 免震構造 発電機、蓄電池設備の充実 4 病棟の構成が十字型で、中央にスタッフステーションがあり、動線が短い。これにより患者、スタッフともに病院環境が大幅に改善されていることを評価している。
---	---

視察・研修報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 保 実 治

下記のとおり、視察・研修が終了したので報告します。

会派代表者氏名 奥 戸 稔

経理責任者氏名 山 田 真 一 郎

期 間	R4 年 12 月 19 日 (月) ~ 年 月 日 ()
用 務 先	相 衆 中 部 消 防 組 合 消 防 本 部
用 務	消 防 本 部 三 次 消 防 署 新 庁 舎 建 設 に つ い て
概要及び所見 (目的, 参考にするべき事項, 提言, 活用策等)	<p>※概要</p> <ul style="list-style-type: none">○相衆中部消防組合消防本部新庁舎建設工事請負契約までの取組について。○庁舎の老朽化による建て替えと、一部分署は浸水想定区域に立置し、防災の視点を取り入れた庁舎の強化が求められており、特に消防本部庁舎は、老朽化と耐震性能不足などで早期整備が望まれていた。 <p>※所見</p> <ul style="list-style-type: none">○5箇所の新築候補地を検討し、一般社団法人消防防災科学センターに委託し、施設規模、消防活動アクセスなどの調査の結果をもとに市民に説明を行っている。○本市においても、市民への説明、意見等を聞く場をもうけるべきであり、規模、建設単価等については他の自治体との比較検討をするべきである。

視察・研修報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 保実 澄

下記のとおり、視察・研修が終了したので報告します。

会派代表者氏名 奥戸 稔

経理責任者氏名 山田 真一郎

期 間	R4年12月20日(火)～ 年 月 日()
用 務 先	加賀市役所
用 務	加賀市医療センターについて。
概要及び所見 (目的、参考にすべき事項、提言、活用策等)	<p>※概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 新加賀市になって、救急医療の不足や、産婦人科休診など医療の衰退が進んだ。救急医療を差えるシンポジウム・救急病院を差える公開討論会、医療提供体制調査検討委員会、市民意見交換会を実施し、平成23年11月、医療提供体制基本構想が策定された。 <p>※所見</p> <ul style="list-style-type: none"> 加賀市医療センターは病床数300床。開院後6年を経過。本市の中央病院建設に大いに参考になる。 病室は全室個室。 入院患者のプライバシーが守られ、感染症対策にとついているのがあり看護師によるベットのコントロールが容易になった。 看護師の評価も、利便が多く、もう大部署にはとれないとの評価

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 山村 恵美子

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	宍戸 稔	経理責任者	山田真一郎
視 察 議 員	山村 恵美子			
期 間	2022年12月19日13時30分～14時30分			
視 察 先	相楽中部消防組合消防本部			
視 察 用 務	消防本部新庁舎建設について			
視察先対応者	相楽中部消防組合議会議長及び消防長他4名			
概要及び所見	<p>概要</p> <p>相楽中部消防組合消防本部新庁舎建設工事請負契約までの取組について。</p> <p>木津川市・笠置町・和東町・南山城村により構成される相楽中部消防組合の各構成署所、庁舎の老朽化により建て替えの時期が迫ってきていた。一部の署所は浸水想定エリアに立地しているなど、防災の視点を取り入れた庁舎の強化が求められており、署所配置の見直しや再整備が喫緊の課題であった。特に消防本部庁舎は老朽化や耐震性能の不足、浸水の懸念など早期整備が望まれていた。</p> <p>相楽中部消防組合消防本部新庁舎建設基本構想説明内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現庁舎の課題 2. 新庁舎建設の必要性和建設場所選定 3. 署所の再編・再配置に関する基本方針 4. 新庁舎整備のコンセプト 5. 新庁舎の整備方針 6. 新庁舎の導入機能と必要規模 7. 新庁舎の耐震性能 8. 建設候補地の利用方針 9. 新庁舎の施設配置 10. 概算事業費 11. 事業スケジュール 			

所見

検討課題については多くの専門性を必要とするため、国内で唯一消防防災に関する調査及び研究開発、情報の収集分析その提供を行なっている一般社団法人消防防災科学センターに委託して、地域の位置・地勢・人口等の状況、また消防・防災の現状と将来的な展望をデータとして収集分析した。5ヶ所の候補地を検討・測定し、施設規模・整備の概要、消防活動アクセスなどの調査の結果をもって、市民に説明を行なっている。本市においても多くのデータ分析は必至であり、国内唯一のコンサルである消防防災科学センターの力は必要不可欠はないだろうか。候補地選定についても、慎重に進めるべきと考える。

また、建設規模・建設単価に関しては、近年新庁舎建築実績のある自治体との比較検討をしっかりと進め、市民に見える化を図っていくことも必要である。

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 山村 恵美子

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	宍戸 稔	経理責任者	山田真一郎
視察議員	山村 恵美子			
期 間	2022年12月20日（火）14時～16時			
視 察 先	加賀市役所			
視 察 用 務	加賀市医療センターについて			
視察先対応者	加賀市医療センター管理部長・次長・総務課長・議会事務局長			
概要及び所見	<p>概要</p> <p>新加賀市になって、救急医療の不足や加賀市民病院産婦人科の、時間外の専門外の受信制限・小児科休診・山中温泉医療センター産婦人科休診など、医療の衰退が進んだ。地域医療審議会において、二次救急医療を担い、医療設備の充実した新病院を建設する以外に、抜本的な問題解決の方法はないとの答申がなされた。救急医療を考えるシンポジウム・救急病院を考える公開討論会・医療提供体制調査検討委員会・市民意見交換会（市内6ヶ所）を実施。</p> <p>これらを経て、平成23年11月、医療提供体制基本構想が策定された。平成23年1月には基本構想市民説明会実施。</p> <p>平成24年2月 医療提供体制推進委員会発足。</p> <p>平成24年8月 総合新病院建設基本計画策定</p> <p>平成24年9月 総合新病院建設事業者選考委員会</p> <p>平成25年3月 建設事業者決定・契約締結</p> <p>平成25年4月 病院統合協議会設置</p> <p>平成25年10月 統合新病院基本設計策定以降、詳細計画検討</p> <p>平成28年4月加賀市医療センター開院</p> <p>所見</p> <p>加賀市医療センターは病床数300床（一般病床214床・地域包括ケア病床41床・回復期リハ45床）。開院後6年を経過し、本市の病院建設に関して大いに参考とするところがあるため、視察に至る。</p>			

・地域の病院を集約化することで、二次救急医療の充実と診療科の確保に努め、マンパワーと資産の集約化を実現し、市民の医療サービスの確保と、より快適な病床環境を実現している病院。

1.病室は全室個室。

- ・治療内容など聞かれないためプライバシーが守られる。
- ・静かな環境確保できる。
- ・部屋ごとに空調調節ができ、快適に過ごせる。
- ・看護師によるベッドコントロールが容易になった。
- ・感染症の拡大を防ぐ。
- ・病院全て個室であり、差額ベッド料は発生しない。
- ・入院中の生活環境が改善できたことにより、病院及び職員へのクレームが格段に減少したため、働く環境も改善された。
- ・看護師の評価については、利点が多くもう大部屋運用には戻れないとの評価。

2.出産時の妊婦の負担軽減のため、陣痛、分娩、回復を1つの部屋で行える.LDR室を設置。

3.災害に強い病院整備

免震構造・発電機・蓄電池設備の充実。

4.病棟の構成は十字形。中央にスタッフステーションがあり、動線が短い。患者・スタッフとも病院環境が大幅に改善されていることを評価している。

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 **重 信 好 範**

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	宍戸稔	経理責任者	山田真一郎
視 察 議 員	宍戸稔, 保実治, 山村恵美子, 山田真一郎, 重信好範			
期 間	令和 4 年 12 月 19 日 (月) ~ 令和 4 年 12 月 19 日 (月)			
視 察 先	相楽中部消防組合本部			
視 察 用 務	相楽中部消防組合消防本部(署)の移転建設について			
視察先対応者	相楽中部消防組合議会議長 森本議長 他 5 名			
概要及び所見	<p>当消防庁は昭和49年の建設から48年が経過し一級河川木津川の増水時の浸水想定区域内に位置していることから平成28年度の消防力適正配置調査の結果にともない大雨や南海トラフト地震などの大規模災害に対応できる新庁舎を整備されている。(令和7年6月完成予定)</p> <p>今回の研修を終え設計コンセプトの基本構想からの多くのことを学ぶことができました。</p>			

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 **重 信 好 範**

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	宍戸稔	経理責任者	山田真一郎
視 察 議 員	宍戸稔, 保実治, 山村恵美子, 山田真一郎, 竹原孝剛, 大森俊和, 新田真一, 藤岡一弘, 重信好範			
期 間	令和 4 年 12 月 20 日 (火) ~ 令和 4 年 12 月 20 日 (火)			
視 察 先	石川県 加賀市役所			
視 察 用 務	加賀市医療センターについて			
視察先対応者	加賀市議会副議長 辰川志郎様 他 4 名			
概要及び所見	<p>加賀市医療センターの概要, 施設, 設備の配置など, 現在の運営の状況である全室個室の効果等について研修を受ける。</p> <p>本市も市立三次中央病院の立て替えにつき職員の勤務体系, 福利厚生, 個室体制等に検討すべきと考える。</p>			

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 山田 真一郎

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	宍戸 稔	経理責任者	山田 真一郎
視 察 議 員	山田 真一郎			
期 間	2022年12月19日（月）			
視 察 先	相楽中部消防組合消防本部3階講堂			
視 察 用 務	消防本部新庁舎建設について			
視察先対応者	相楽中部消防組合			
概要及び所見	<ul style="list-style-type: none"> ・相楽中部消防組合消防本部新庁舎建設基本構想 <ul style="list-style-type: none"> 1. 基本構想策定の背景と目的 2. 現庁舎の課題 3. 新庁舎建設の必要性と建設場所 <ul style="list-style-type: none"> ①新庁舎建設の必要性 ②新庁舎建設の場所 4. 署所の再編・再配置に関する基本方針 <ul style="list-style-type: none"> ①各出張所の機能存続 ②効率的な財政運営 ③老朽化等による整備 ④全国平均を下回る到達所要時間を確保 ⑤職員・車両等を集約配置による効果 5. 新庁舎整備のコンセプト <ul style="list-style-type: none"> ①住民の安心・安全な暮らしを支える拠点となる庁舎 ②消防力の維持・向上を行える庁舎 ③住民に開かれた庁舎 			

6. 新庁舎の整備方針
 - ①災害対応拠点施設の強化
 - ②地域全体の防災力の向上
 - ③利便性の向上
 - ④経済性への考慮
 - ⑤環境への配慮
 - ⑥住民の安心・安全への配慮
7. 新庁舎の導入機能と必要規模
 - ①導入機能と主要諸室
 - ②必要規模
8. 新庁舎の耐震性能
 - ①耐震性能
 - ②構造種別
9. 建設候補地の利用方針
10. 新庁舎の施設配置
 - ①一体的な用地確保の方針
 - ②施設配置の方針
 - ③周辺環境への配慮方針
11. 概算事業費
12. 事業スケジュール

三次市にある消防庁舎が建て替え時期を迎えているとのこと
で、三次市と同規模の木津川市の消防本部でお話を聞くことが
できました。

基本構想の策定段階から、建設場所の策定等にかかなりの違いが
あると感じました。

この度に学んだことを上手く提案していければと思います。

視察等報告（復命）書

三次市議会議長 様

報告者氏名 山田 真一郎

下記のとおり、視察が終了したので報告します。

	会派代表者	宍戸 稔	経理責任者	山田 真一郎
視 察 議 員	山田 真一郎			
期 間	2022年12月20日（火）			
視 察 先	加賀市役所			
視 察 用 務	加賀市医療センターについて			
視察先対応者	加賀市議会 加賀市医療センター			
概要及び所見	<p>加賀市医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開院までの経緯について ・統合新病院建設基本計画 検討体制 ・運営計画等 検討体制 ・病院の概要 ・一般病室の個室化 ・災害に強い病院へ向けた整備 ・救急センターの設置 ・検診センターの併設 			

- ・集中治療の専用病棟設置
- ・LDRの整備
- ・医療と介護の連携
- ・新病院の大きな目玉
- ・訪問看護ステーションの設置
- ・直近の実績
- ・建物・駐車場の設置

この度の研修内容で一番注視したのは、一般病室の全室個室化でした。メリットとしては、移動手続きの簡略化、患者同士のトラブルの減少、室温管理の自由、男室女室がなくなる等々、多数教えて頂きました。

事業費や配置スペースの問題もあるので、引き続き調査研究をしていきます。